

令和3年第1回臨時会

富良野市議会会議録

令和3年1月22日（金曜日）午前10時00分開会

◎議事日程（第1号）

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 1号 令和2年度富良野市一般会計補正予算（第13号）
日程第 4 議案第 2号 自動車事故の損害賠償及び和解について

◎出席議員（17名）

議長	18番	黒岩岳雄君	副議長	13番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	渋谷正文君
	3番	大西三奈子君		4番	松下寿美枝君
	5番	大栗民江君		6番	関野常勝君
	7番	石上孝雄君		8番	水間健太君
	9番	小林裕幸君		10番	家入茂君
				12番	佐藤秀靖君
	14番	宇治則幸君		15番	日里雅至君
	16番	天日公子君		17番	後藤英知夫君

◎欠席議員（1名）

11番 本間敏行君

◎説明員

市長	北猛俊君	副市長	石井隆君
総務部長	稲葉武則君	市民生活部長	山下俊明君
保健福祉部長	柿本敦史君	経済部長 兼ぶどう果樹研究所長	川上勝義君
建設水道部長	小野豊君	看護専門学校長	澤田貴美子君
総務課長	今井颯一君	財政課長	藤野秀光君
企画振興課長	関澤博行君	教育委員会教育長	近内栄一君
教育委員会教育部長	亀淵雅彦君		

◎事務局出席職員

事務局 長 清水 康博 君 書
書 記 佐藤 知江 君 書

記 大津 諭 君
記 向山 孝行 君

午前10時00分 開会
(出席議員数17名)

開 会 宣 告

○議長(黒岩岳雄君) これより、本日をもって招集されました令和3年第1回富良野市議会臨時会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染防止のため、会議中のマスクの着用を許可いたします。

開 議 宣 告

○議長(黒岩岳雄君) 直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(黒岩岳雄君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員には、会議規則第126条の規定により、

宮 田 均 君
後 藤 英知夫 君

を御指名申し上げます。

諸 般 の 報 告

○議長(黒岩岳雄君) 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長清水康博君。

○事務局長(清水康博君) -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

本臨時会に市長より提出の事件、議案第1号及び議案第2号につきましては、あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、本臨時会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

本日の議事日程につきましても、お手元に御配付のとおりでございます。

以上でございます。

日程第2 会期の決定

○議長(黒岩岳雄君) 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本臨時会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長後藤英知夫君。

○議会運営委員長(後藤英知夫君) -登壇-

議会運営委員会より、本日をもって招集されました令和3年第1回臨時会が開会されるに当たり、本日、委員会を開催し、運営について審議いたしました結果について報告いたします。

本臨時会に提出されました事件数は、市長からの提出案件2件で、内容は、予算1件、その他1件でございます。

委員会では、会期を本日1日とし、案件の審議を願うことで委員会の一致を見た次第であります。

以上、よろしく御協力を賜りますようお願い申し上げます。議会運営委員会からの報告といたします。

○議長(黒岩岳雄君) お諮りいたします。

ただいま議会運営委員会より報告のとおり本臨時会を運営し、会期は本日1日間といたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りのとおり決しました。

日程第3

議案第1号 令和2年度富良野市一般会計補正予算(第13号)

○議長(黒岩岳雄君) 日程第3、議案第1号、令和2年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

○副市長(石井隆君) -登壇-

おはようございます。

議案第1号、令和2年度富良野市一般会計補正予算について御説明申し上げます。

このたび提案いたしました富良野市一般会計補正予算第13号は、歳入歳出それぞれ1億6,487万円を追加し、歳入歳出予算の総額を181億8,015万3,000円にしようとするものでございます。

以下、その概要について、歳出から御説明申し上げます。

8ページ、9ページでございます。

2款総務費は、1項総務管理費で、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制確保に伴う住民情報システム修正委託料42万5,000円の追加でございます。

4款衛生費は、1項保健衛生費で、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制の確保を行う新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業委託料2,516万5,000円の追加でございます。

7款商工費は、1項商工費で、新型コロナウイルス感染症拡大防止と新しい生活様式に対応する取り組みに支

援する中小企業振興総合補助金、新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けている事業者を応援する事業継続応援補助金、1億3,928万円の追加でございます。

次に、歳入について御説明申し上げます。

戻りまして、6ページ、7ページでございます。

15款国庫支出金は、2項国庫補助金で、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、1億6,487万円の追加でございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長（黒岩岳雄君） これより、本件の質疑を行います。

質疑は、本件全体について行います。

質疑ございませんか。

8番水間健太君。

○8番（水間健太君） 8ページ、9ページ、7款1項1目の250番、新型コロナウイルス対策経営支援事業費について、確認の意味も込めて質問をさせていただきます。

こちらについては、飲食業、アウトドア事業者、宿泊業、また交通事業者等、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者が対象ということですが、こちらの支給に当たって、支給の対象が1法人1事業者ごとなのか、それとも店舗ごとなのか。

というのは、1法人の中で、例えば飲食業であれば、多店舗展開しているところ、また、宿泊業と飲食業の両方をやっているような事業者もあると思いますので、こちらの確認の意味も込めて、まず1点伺います。

そして、こちらに係る窓口は商工観光課になろうかと思えますけれども、募集を始めてから相当な申し込みや相談が来るかと思えます。職員の負担も大きくなるかと思えますが、その相談体制や窓口体制をどのように整えていくのか、伺います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長（川上勝義君） 水間議員の御質問にお答えいたします。

8ページ、9ページの250番、新型コロナウイルス対策経営支援事業費の事業継続応援補助金の支給対象が1法人1店舗なのかどうかを含めてということでもあります。

これにつきましては、一つの事業所が複数の店舗等を展開している方々もいらっしゃいますので、その部分については店舗ごとの支給を現在は考えています。ただ、収入の台帳等が分かれていない場合等もありますので、その場合については一つというふうになろうかと思えますけれども、ケース・バイ・ケースといえますか、そういうことで判断をさせていただきたいというふうに思っています。

2点目の相談体制でありますけれども、本日、この議

会で可決いただいた後、早急にPRを開始して、来週の1月25日から受け付けを開始させていただこうというふうに思っています。

窓口の対応につきましては、市の商工観光課の職員というふうに思っていますけれども、いまのところは職員で対応する予定であります。見込みとしては、合計300件程度の受け付けというふうに思っておりますけれども、まずは職員で対応させていただくような方向でいまは考えております。

以上でございます。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） そのほか質疑ございませんか。

5番大栗民江君。

○5番（大栗民江君） 8ページ、9ページ、4款衛生費1項2目予防費の135番、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費について伺います。

議員協議会で説明を受けたところですが、確認の意味も込めて質問をしたいと思います。

市町村が準備する主な事項といたしまして、人的体制の整備ということで協議会の中で御説明がありましたけれども、このワクチン接種体制の整備に関しては、ワクチンは人口の65%から70%の人が受ければ集団免疫が実現すると言われているので、市民の関心度も高いのではないかと思います。円滑に進むように、この体制整備はどのように取り組んでいかれるのか、現在の人員体制と必要な職員数について伺います。

また、二つ目に、接種の優先順位が高い人の数を市としては把握されているのかどうか、伺います。

そして、ワクチンの接種会場の場所はどのように考えておられるのか、伺います。

○議長（黒岩岳雄君） 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長（柿本敦史君） 大栗議員の御質問にお答えいたします。

8ページ、9ページ、4款1項2目の135番、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費について、まず、人員体制に関してでございますが、今回提案させていただいております中には会計年度任用職員等の人件費の部分は含まれておりませんので、この整備体制確保におきましては、いまのところ、現状の人員で行っていく予定でございます。

今後、4月以降、実際に接種になりましたら、そこで業務量を整理して、会計年度任用職員等が必要かどうかということも精査させていただきたいと思っております。この関係は、やはり、保健福祉部のみで対応できるものではない可能性も含まれておりますので、全庁的にどのような形でこの体制に取り組んでいくかというのは、今後、国から示される情報等も含めて精査していきたいと

いうふうに考えております。

基礎疾患のある方等、優先順位の部分につきましては、これから具体的にリストアップしていこうと思っておりますので、申しわけございませんが、いまこれだけの方々がいらっしゃるといのは私としては把握しておりません。申しわけございません。

また、会場に関してですが、いま、接種体制の調整、確保等で医師会と情報交換、協議をさせていただいてるところでございます。いまのところ、これはまだはっきり断言できるものではございませんが、例えば保健センターとかスポーツセンターというところで集団接種をするよりは、各医療機関、センター病院のほうも非常に前向きに協力体制を整えていただけるという御返事をいただいておりますので、そういうところでやったほうが、例えばアナフィラキシーショックへの対応なども含めまして、まずは医療機関で対応していただける部分は極力対応していただいて、そこで全部を網羅的にできればいいなというふうに考えております。

今後、それだけでは対応し切れない部分があれば、保健センターのほうで実施するなど、考えていかなければならないこともあるかもしれませんが、いまのところは医療機関のほうでやっていただけるということをもっと考えているところでございます。

以上でございます。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

12番佐藤秀靖君。

○12番(佐藤秀靖君) 同じく8ページ、9ページ、4款1項2目の135番、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費ですが、事前にいただいている資料によると、相談体制の確保ということが一つあります。この中にコールセンター等の設置、運営ということが書かれています。新聞報道等もされているとおり、ワクチン接種を受けますか、受けませんかというアンケートで、受けると言っている方が約2割、受けないと言っている方が1割、その他保留という方が大多数です。これは、まだ正確な情報が伝わっていないからということもあろうかと思えますけれども、実際にワクチン接種が始まるという段階で、正確な、かつ迅速な情報提供というのが非常に重要になるかなというふうに思っていますので、このコールセンターの設置というのは非常に重要なかと思っています。

ワクチン接種率を上げるためにもこれは非常に重要だと思っておりますが、このコールセンターは、いつごろ、どこに設置するのか、伺います。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長(柿本敦史君) 佐藤議員の御質問にお

答えいたします。

8ページ、9ページ、4款1項2目の135番、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費について、コールセンターに関する御質問でございました。

問い合わせ対応などのコールセンターの設置、運営に関しましては、国からも、業務負担軽減の観点から、外部委託などを検討し、早急な業者選定を進めるよう示されております関係で、今回提案させていただいております委託料の中にその部分も含まれております。コールセンターの場所といたしますと、いまのところは委託を考えておりますので、富良野市内というわけではないということになると思います。委託業者のところに富良野市専属の方を配置していただいて、もちろん科学的見地からの大まかな情報等も含めて、また、富良野市内でどのような接種の仕方ができるかという具体的なことにも対応させていただくようなコールセンターを考えております。

そうは言っても、当然、保健センターのほうにも多数の問い合わせ等が来ると考えておりますので、通常業務をやりながらの対応が難しければ会計年度任用職員ということもいまは検討しているところでございますが、そのような形で対応してまいりたいというふうに考えております。

また、接種率向上につきましては、議員も御指摘のとおり、不安でちゅうちょされる方が接種を思いとどまってしまうということがあろうかと思えます。安心できる情報を提供していくことが非常に大事だというふうに考えておりますので、科学的な根拠に伴う情報やワクチンの安全性、効果など、今後、知見を深めていく中で国から示されていくことをスピーディーに的確にお示ししていきながら、接種率の向上に努めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) 続いて、質問ございますか。

12番佐藤秀靖君。

○12番(佐藤秀靖君) いま御説明いただいたところですが、このコールセンターは、富良野市外かもしれないということでありました。

コールセンターは外部委託するということでもありますけれども、設置に当たっては、担当者は富良野市専属の方ということでもあります。専門的な知識、知見は必要だと思います。それをもとに、富良野市の体制、考え方をしっかり案内できる方が必要なかなと思っています。そうした要件に合う業者を見つけるということと、委託業者の選定はどう考えていらっしゃるのか、伺います。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

保健福祉部長柿本敦史君。

○保健福祉部長(柿本敦史君) 佐藤議員の再質問にお

答えいたします。

コールセンターの関係でございますが、議員の御指摘のとおり、やはり、専門的な勉強をされた方にコールセンターの業務を担っていただかなければならないということでございます。国からも業者選定も並行して早急に進めていくようにということで、いろいろな業者からお話を伺って、こちらで研究しているところでございます。その中では、コールセンターを担っていただける方に専門知識の研修を受けていただいて、富良野市が委託するのであれば、そのスタッフと綿密な調整をしてやっていくというようなことも提案されてきておりますので、その辺に十分対応できる業者を選定していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

1番宮田均君。

○1番(宮田均君) 8ページ、9ページ、7款商工費1項1目商工業振興費の250番、新型コロナウイルス対策経営支援事業費についてお伺いいたします。

内容なんですが、飲食業のほうで4区分されたこの経緯をお知らせ願いたいと思います。

というのは、ここは、2,000万円以上で一発で切っています。そして、先ほどの水間議員への答弁にもございましたように、支店も1件に入れるということでした。しかし、1店舗で売り上げの結構大きいところは、やはり、人も雇って人件費や設備費もかかっております。こちら辺について、2,000万円以上ということで切ったという理由もお聞かせ願いたいと思います。

以上です。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長(川上勝義君) 宮田議員の御質問にお答えいたします。

8ページ、9ページ、7款1項1目の250番、新型コロナウイルス対策経営支援事業費の事業継続応援補助金の関係でございます。

今回のこの制度では、年間の売り上げが500万円未満、500万円から1,000万円未満、1,000万円から2,000万円未満、2,000万円以上という四つの区分を設けさせていただきました。この四つの区分につきましては、昨年4月の議会で可決いただきました事業継続応援補助金において、飲食店の皆さんから上がってきた申請を参考に売り上げベースで分けさせていただきました。いまの飲食店の皆さんの売り上げの配分というのでしょうか、区分については大体この四つに分けられるような状況でありました。

やはり、売り上げが非常に大きくて、従業員の方を雇っているところもあるのですけれども、全体を見て均等

に支援できる制度設計というところでいきますと、この四つの区分になり、従業員の大体の平均人数を割り出した結果、このような金額の設定をさせていただいたところでは、中には、複数のお店を経営していて経費等がいろいろと出ているところもありますけれども、先ほど水間議員の御質問にもお答えしたとおり、複数の事業所や店舗を運営しているところについてはそれぞれというふうに思っておりますので、こちらとしては、ベストではないかもしれませんが、皆さんに平均に行き渡るような制度になったのではないかなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長(黒岩岳雄君) 続いて、質問ございますか。

1番宮田均君。

○1番(宮田均君) いまの説明でいきますと、支店とかを持っているところについては、その支店も含めて支援するという御答弁だったと思うのですが、そのほかに、支店がない状態で売り上げが大きいところもいらっしゃるというようなことへの対応についてですけれども、どのようにお考えなのか、もう一度だけお聞かせ願います。

○議長(黒岩岳雄君) 先ほど答弁していますから、質問の趣旨を変えて、再度、質問してください。

1番宮田均君。

○1番(宮田均君) 2,000万円以上の部分で、支店があるところについては一店舗一店舗それぞれに支援金が行き届くということですが、大きな店舗で1店舗しかないということになりますと、売り上げが高くてもこの支援金の金額は変わらない、そこに不公平感が出てくるのではないかなと思うのですが、その点はいかがですか。

○議長(黒岩岳雄君) 御答弁願います。

経済部長川上勝義君。

○経済部長(川上勝義君) 宮田議員の再質問にお答えいたします。

先ほどと同じ答弁になるかもしれませんが、こちらとしましては、前回の補助金の申請の状況を参考にやらせていただいています。

事業所にもいろいろな経営の形態があつて、本当に多くの方を雇って運営されているところもありますが、全ての方々に満足いただけるような制度設計というのがかなり難しい状況でありますので、この四つの枠の中でやらせていただければと思っています。

以上でございます。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

日程第4

議案第2号 自動車事故の損害賠償及び和解について

○議長(黒岩岳雄君) 日程第4、議案第2号、自動車事故の損害賠償及び和解についてを議題といたします。

本件について、提案者の説明を求めます。

看護専門学校長澤田貴美子君。

○看護専門学校長(澤田貴美子君) ー登壇ー

おはようございます。

議案第2号、自動車事故の損害賠償及び和解について御説明申し上げます。

本件は、令和2年11月27日午前6時55分ごろ、公用車運転業務委託先の運転手が、看護専門学校非常勤講師の送迎のため、国道237号線美瑛町美馬牛第2会館前の国道237号線を走行中、スリップして対向車線へ飛び出し、対向してきた車両及びその後続車両と衝突、そのはずみで、もと走行していた車線へ戻り、後続走行の大型トラックと衝突した後、ガードレールに接触。車両3台及びガードレールの損傷とともに、対向車両を運転していた方へのけがを負わせたものでございます。

本件は、そのうちの大型トラックに関するもので、車両修理費77万5,115円及び営業損害補償36万円、合わせて113万5,115円の損害額でございます。

相手方に過失が認められないことから、富良野市の過失割合を10割、損害賠償金を113万5,115円として示談しようとするものでございます。

幸い、相手方におきましては、大きなけがには至りませんでした。今後も、公用車の運転に際しては、安全運転に十分留意するよう注意を徹底してまいります。

なお、残る対向車線を走っていた方の車両と治療費、その後続車両及びガードレールの3件にかかわる損害賠償については、現在、示談交渉中でございます。

以上、よろしく御審議のほど、お願い申し上げます。

○議長(黒岩岳雄君) これより、本件の質疑を行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) ないようですので、以上で議案第2号の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(黒岩岳雄君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

閉 会 宣 告

○議長(黒岩岳雄君) 以上で、本臨時会に付議されました案件は、全て終了いたしました。

これをもって、令和3年第1回富良野市議会臨時会を閉会いたします。

午前10時31分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 3 年 1 月 22 日

議 長 黒 岩 岳 雄

署名議員 宮 田 均

署名議員 後 藤 英 知 夫